

プレゼンテーションへのコメント

アンドリュウライマン

(宇都宮大学国際学部准教授、宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター員)

本日はありがとうございました。今日のプレゼンテーションは素晴らしかったです。私も一緒に一回足尾に行って、今日はたくさん勉強しました、ありがとうございます。みんなの発表をまとめさせていただいて、コメントと、少し質問もあります。例えば、グループ A、色々なアイデアもありました。Uber とか SNS, マスコット、アニメ、足尾の問題はアクセスとか PR、本当にいいアイデアだと思います。グループ B もインタビューとか、ハッシュタグとか SNS も話しました、グループ C も歴史とかインタビュー、チラシ、本当にいいアイデア。D グループも歴史を、少々話しました。グループ D は本当に沢山のアイデア、プロジェクトがありました。マラソンとかスタンプラリー、いろいろなイベント、キーワードそういうのもすごい良い PR かもしれないですし、いいビジネスチャンスだと思います。最後の E も歴史を説明しました。それと二つのプロジェクトでしたね。最後のマーケティングキャンペーン、やっぱりそれは一番大事です。足尾は大切なところ、いいところですが、何を PR しますか？お客さんは誰？足尾に期待するお客さんは誰？日本人は足尾の歴史にすごい興味がある。けれど外国人には何がある？足尾に来る理由がありますか？最後のグループは HEARTLAND です。Nature, Peace, Quiet それもいい。そして、ひとつ質問があります。例えば、あなたの友達とか自分の国の人に足尾をお勧めできますか？ Do you recommend Ashio to your country's people?

佐藤正人 (日光市観光部観光交流課長、日光市国際交流協会事務局長)

みなさんこんにちは、紹介いただきました日光市の観光交流課長の佐藤と申します。よろしくお願ひします。只今の素晴らしい発表、学生の皆さんありがとうございました。また、重田先生をはじめ、宇都宮大学の皆様には、足尾地域での二回に渡るフィールドワーク、大変ありがとうございました。お礼を申し上げたいと思います。今回一点嬉しいことがありますのは、この発表の中に日光市の学生さんが一人いて、発表していただいたということが私としては嬉しく思っております。今の発表のなかで、いくつかこちらの方としても考える部分がありまして、まず A 班の方の発表の中で、二次交通のお話があったと思いますけれども、足尾に行く交通の便が悪いというお話がありました。これにつきましては、昨年日光市の方で観光振興計画を作成いたしまして、そのなかで足尾だけではないんですけれども、日光市全体の中で二次交通が弱い、という課題があります。そんななかで、Uber という個人タクシーというものがありますという提案をいただきました。こういったことについては市の方でも特に把握していなかったところもございまして、大変参考になったところです。他の班でもそうなんですけれども、多言語化の推進の部分ですね、このへんにつきましても、日光市として課題として捉えているところでございまして、

あと公衆トイレが汚いと、いう部分があったと思いますけれども、この辺についても日

光市としては、公衆トイレの洋式を進めている部分がございますので、参考にしたいと思
います。あとは、SNS の発信により観光客を集めるというご提案でございますが、こうい
ったことも日光市としては、今後も進めていきたいところでございます。さきほど他の班
のご発表でもありましたとおり、日光市の昨年の観光客の数は、市全体で約 1200 万人で
ございます。そのうち足尾への観光客数は約 17 万人ということで、全体の約 1.4%ぐらい
という数字でございます。今後も、足尾の方に、観光客の方々に足を運んでいただけるよう
に、宇大の留学生の皆様にも、今回 SNS という話も出ましたので、SNS で足尾の魅力を発
信していただいて、世界から足尾に足を運んでいただけるようにぜひご協力いただけたら
と思います。さきほど B 班の方で、足尾は楽しいとか、ご飯が美味しいとか、良かったよ
という話もございましたので、ぜひそういったところを発信していただけたらと思います
ので、その辺もおねがいし、私の締めとさせていただきます。今後とも、ご協
力をよろしく願います。ありがとうございました。

質疑応答

参加者 A

すみません。着席したままで失礼します。日光国際協力協会の会員で芦野と申します。
みなさんの取り組みには毎年参加させていただいて、この会が最初は留学生がこういった
形に慣れる、ということがあったと思うんですが、一つの質の非常に高い、学問的な内容
に変わってきたなということを感じました。それと一つ提案させていただきます。

私、日光市のボランティア団体にも入ってまして、昨日の夜 5 時から 7 時くらいまで
話をする機会があったので、今日こういったシンポジウムがあるんだということ話を
したら、いくつかそちらでも提案を頂戴しました。まずは、掛水倶楽部をそのまま保存し
て観光客に 400 円で見せるということだけではなくて、江戸村の再現した村がありま
すけれど、それと同じようななにか鹿鳴館ではありませんが、明治から昭和にかけてのな
にか風俗、そのようなものを再現するような役者さんなりそれなら市役所の職員なりがお客
さんをお出迎えするようななにか動きのある楽しいところをできるように古河にかけあ
てみたらどうだろうか、という提案がひとつありました。あとそれから、これは日光のあ
るパンフレットなんですけれど、これは平成 16 年に私が埼玉にある銀行でこのようなもの
が飾られたのでいただいてきたものです。これは世界遺産ということで東照宮などしか出
ていないんですが、こういったもののなかにもどこが発行しているかという日光市観光部
観光振興課ということで、ちゃんと URL も入っていますが、こういったところに足尾のこ
とも近代化を支えた足尾ということをつけ加えてもいいのかな、と思います。宣伝の部分
です。というのも思いました。以上の二点です。ありがとうございました。

参加者 B

森びとプロジェクト委員会の橋倉と申します。足尾で植樹活動の活動を展開しておりま